



まなびや

東市ヶ尾



笑顔のリレー

副校長 山本 慶子

うす紫や藤色、水色にピンクと、色とりどりの紫陽花の花があちらこちらで咲き始めました。日に日に色が濃くなっていくきれいな紫陽花を横目で見ながら、もうすぐ梅雨がやってくるのだなと思います。先日の雨の日には大きく身体をくねらせて歩くかたつむりを見つけました。季節が変わっていくのは本当に早いものです。

今回はとても素敵な、そして心があたたかくなる話を紹介したいと思います。

約ひと月前のゴールデンウィーク明け。学校に一通の手紙が届きました。差出人は地域の方です。お名前の横には「(生徒さんに親切にいただきました。お礼のお手紙です。)」と書いてあります。校長先生が封を開け、先に手紙を読まれました。すると校長先生は「とても素敵なお手紙だわ」ととびきりの笑顔でその手紙を私に渡してくれました。「なにになに?何が書いてあるのだろうか?」とわくわくしながら手紙を読みました。

～重い荷物(米5キログラム他)を持ち、くたびれたので少し休んでいたら、4年生くらいの女の子がそばにやってきて荷物を持ってくれたのです。～おばあちゃんが重そうな荷物を持っている姿を見て、「助けてあげたい」「手伝ってあげたい」と思ってもらったようでした。「じゃあ、こちらの軽い方をもってくれる?」と言いましたら、「こっちの重たい方でも持てるよ、大丈夫」と言って持ってくれました。やさしい心づかいをしてもらい、とてもうれしいできごとでした。勇気のあることなのに、思い切って行動してくれたことに感動でした。
～親切な行動をととてもありがたく思い、お知らせすることが私の「お礼」だと思い、お手紙を書かせていただきました。～

読み終えた私は、とてもうれしい気持ちでいっぱいになりました。そして、校長先生が「素敵なお手紙だわ」と笑顔で渡してくれた訳がわかりました。私も笑顔になりました。

早速、お手紙にもあった、4年生の先生にその話をし、手紙を渡しました。各クラスで、「心当たりの人はいますか?」と担任が声をかけると、一人の女の子が「はい」と小さい声で手を挙げたそうです。同じクラスの子供たちからは笑顔とともに大きな拍手が沸き起こったと聞きました。そしてその話を知った隣のクラスも大きな拍手と同時に、教室中が笑顔にあふれたと嬉しそうに担任が話してくれました。

人を想うやさしい気持ちと、それを行動にうつすことができる勇気にとても感動しました。そして、それを知ったみんなの気持ちがあたたかくなり、笑顔でいっぱいになる出来事でした。お手紙をくださった地域の方もきっと笑顔になったことでしょう。

「笑顔のリレー」たくさん、つなげていけたらいいなと思います。

6月もよろしく願いいたします。